

参加者からの主な意見

日時 令和4年10月17日(火) 19:00～

場所 鹿屋市農業研修センター

テーマ	人口減少対策について
<p>○地域に住み暮らす大人が、地域の将来への危機感と当事者意識を持って子ども達を育成する取組と地域への愛着や誇りを持つ取組が必要である。</p> <p>○高校を卒業して市外・県外へ出て行くことは仕方ないと思うが、将来的に鹿屋へ帰ってきたいと思えるような街づくりをするために、鹿屋のブランド力と発信する力を高めていく必要がある。</p> <p>○鹿屋市を含めた大隅半島の豊かな自然と一次産業の食などの魅力を高める施策が重要。</p> <p>○出生者と転入者が増えることが人口増に繋がるので、教育費の負担軽減や子どもの数による税額控除を検討するなどコスト面で住みやすい街づくりが必要ではないか。</p> <p>○東京にある「ふるさと回帰センター」には年間600件の鹿児島へ移住希望があるので、県内の自治体の中から鹿屋が選ばれる理由づくりが必要である。</p> <p>○学生に対し将来鹿屋へ帰る判断材料として鹿屋市内の企業との接点を持つ取組が必要</p> <p>○いきなり移住は難しいので、交流人口→関係人口→定住人口というステップがあるのでそのステップごとの施策、計画など立てて次の段階に進めるような取組が大切である。</p> <p>○SNSを通じたPRは良い取組であるが、動画再生だけではPR力は上がらないので、そこから先の繋げ方が大事であると思う。取組は続けて行ってほしい。</p> <p>○一次産業に興味がある県外の方に農業体験等のPRを通して交流・定住人口に繋げる。</p> <p>○婚活事業は出会いの場がなければ提供する必要があるが、結婚への価値観が変容してきているので、その伝え方は家庭の責任であると思う。</p> <p>○鹿屋の歴史を学び郷土を愛する心を育てていく取組が必要である。</p> <p>○青少年育成の事業実施をしたが、鹿屋だけでなく他地域の団体等との交流を絡めた体験活動を通じて、子どもと我々も地域を知る・高める機会になったのではないか。</p> <p>○県外出身であるが、鹿屋は自然が多く趣味を楽しむ人が多いので、それらを通じて結婚に繋がることもあると思う。</p>	

テーマ	投票率向上について
<p>○若い世代が立候補すれば、投票率は向上するのではないか。</p> <p>○特に若い世代に対してPR力を高める必要がある。</p> <p>○人口減少対策と同様に地域の将来への危機感など当事者意識を持つことが大事である、</p> <p>○子ども達が地元への愛着と誇りを持っていれば、世代を超えた投票率向上に繋がる。</p> <p>○県のぐりぶクーポンのようにLINEを活用して広く周知を図るべきである。</p> <p>○選挙の権利と義務を理解させる強力な対策を講じる必要がある。</p> <p>○市長選と市議選を同日に実施すれば、投票率向上と経費削減に繋がるのではないか。</p>	

